

予算常任委員会

9月補正予算の 主な内容をご紹介します



■メガソーラー予定地(黒倉)

地域総合整備資金貸付金

1億8,000万円

メガソーラー整備事業への無利子貸付金。

通知カード・個人番号カード関連事務委任交付

1,004万円

マイナンバー制施行による個人番号交付関連事務の委託費。

国民健康保険特別会計事業勘定繰出金

3,709万円

国保健康保険基盤安定負担金等の増額に伴う国保特会への繰出金の追加。

塵芥処理費

863万円

処分場水質監視用計装機器の更新費追加。

企業誘致対策事業費

433万円

地下水使用による水位への影響調査、用水確保の為の水道管枝線整備等追加。

冬期交通対策費

3億1,431万円

除排雪関連経費の追加。

議論のポイント ～予算委員会質疑から～

メガソーラー事業の地域住民への不安と懸念への対応は？

質問 本事業の概要と経緯について何う？

答弁 昨年の9月に㈱せんぼくおひさまプロジェクトが設立し、709kw、総事業費4億3千2百万円で事業期間は20年間である。

質問 黒倉地区住民の不安や懸念にどのように対応しているのか？

答弁 東北電力から2月に認可が下りたのを受け、遅くなつたが、事業者が3月から3回説明会を行った。3回目に

は、市職員も参加して融資制度の概要について説明している。

安全性についてメーカーの説明では「社会通念上の安全性は十分にあり、有害性はない。ソーラーパネルが人体や農作物等へ及ぼす被害も無く、懸念される影響はない。通常の雨や雪等の自然現象には耐えられるものと考えられる。しかし、事業予定地住民の不安の声は重く受け止める」

市として、事業者には、安

誘致企業の現地法人は設立されたのか？

質問 ㈱司食品工業の現地法人は設立されたのか？工場排水は浄化槽によるものか。漁協との協議は行われているのか？

答弁 まだ現地法人は設立されてい

ない。浄化槽を設置し、地下水で希釈して河川に放流するとの事。9月10日に市長・副市長

も出向いて漁協との話し合いを継続している。アユへの影響と風評被害が心配であると漁協から頂いている。

◎修正案が提出される

メガソーラー事業を支援する仙北市は、「地域住民の理解が得られるまでは慎重な対応をすべきである」という事

を理由に、貸付金1億八千万円及び、その財源の市債を減額する修正案が提出された。

採決

賛成少数により
修正案は否決された。